

2022年3月28日  
 感性A I 株式会社  
 国立大学法人電気通信大学

**性別・年代別セグメント分析・複数案比較分析、ペルソナ設定等が可能に  
 マーケティングソリューション「感性A I アナリティクス」・  
 「感性A I プレスト」がバージョンアップします！**

京王グループの感性A I 株式会社（本社：東京都調布市、取締役社長：虻川 勝彦）は、国立大学法人電気通信大学（所在：東京都調布市、学長：田野 俊一）の坂本真樹研究室の特許技術・知財を活用して提供するマーケティングソリューション「感性A I アナリティクス」「感性A I プレスト」のバージョンアップを3月30日（水）から順次実施します。

本ソリューションは、商品の重要な要素である「ネーミング」「キャッチコピー」「パッケージ」のイメージ分析やアイデア創出を行うA I ツールです。試行錯誤が多い新商品開発、既存商品リニューアル時のブランディング・販促業務において、より消費者の感性に働きかけやすいコミュニケーションの実現・感性価値の創造を支援します。それにより、市場調査コストを軽減し商品開発のPDCAを迅速化させ、業務効率化・推進に貢献します。

今回のバージョンアップにより、お客さまからのご要望の多かった**性別・年代別での好意度や印象の分析・評価や複数案比較分析、ペルソナを軸にしたプレスト案の創出**が可能になりました。これにより、A I による多面的なイメージ分析のレポートや、よりターゲットに伝わりやすい表現の検討に活用できるようになります。

感性A I 株式会社では、国立大学電気通信大学坂本研究室で長年培った特許技術・知財、心理・分析データ、ノウハウにA I 関連技術を融合させた感性を定量化する技術をもとに、企業の課題・ニーズに合わせた最適なソリューションを提供しています。多種多様なデータによる価値創造社会への変革が進むなかで、学術的に裏付けされたこれらの技術をもとに、ものづくり分野及びウェルネス分野においてご活用いただける幅広いサービスメニュー開発を進め、感性情報・データを活用した感性価値創造を推進していきます。

今後も、お客さまからのご要望を反映した機能アップデートや精度向上に向けたA I データ拡充を継続的に実施し、満足いただけるサービスの提供に向けて開発・改善を続けてまいります。

詳細は下記のとおりです。

**特徴 01 好意度・印象評価**

好意度と印象の評価が行えます。印象評価に関しては、ネーミングは77尺度、キャッチコピーとパッケージは42尺度の評価を行うことが可能です。

**特徴 02 性年代別・商品別分析**

性別・年代別、商品別に印象評価の結果を出力します。ターゲットのセグメントにどういった印象をもたらすかの分析や、評価を行いたい複数商品に対して、画面上で簡単に結果を比較することが出来ます。

**特徴 03 直感で把握しやすい分析結果**

画面上でセグメント・商品別比較を行うことができ、レーダーチャートや折れ線グラフで結果が表示されるため直感的に把握可能です。様々な場面に対応したレポートも行えます。

**特徴 04 連想語予測**

ワードマップ上での連想語予測が行えます。ネーミングやキャッチコピーからの連想がコンセプトと合致しているかを確認することが可能です。

**特徴 05 ポジショニングマップ作成**

比較したいもの、比較したい軸で、ポジショニングマップを作成することができます。複数案のポジションを相対的に把握することで、コンセプトに適しているかどうかを即座に視覚的に把握することが可能です。

《感性A I アナリティクス特徴》

# 1. 「感性A Iアナリティクス」「感性A Iプレスト」について

## (1) 概要

### ①感性A Iアナリティクス

消費者データを学習したA Iがネーミング、キャッチコピー、パッケージの印象を瞬時に数値化・分析するイメージ分析A Iツールです。新商品開発、既存商品リニューアル時のネーミングテスト、キャッチコピーテスト、パッケージデザインのテストにご活用頂けます。

#### 【バージョンアップ内容】3月30日(水)バージョンアップ

- 性別・年代別セグメント分析機能・印象項目数拡大 (キャッチコピー分析・パッケージ分析)  
性別・年代ごとの好意度や印象分析・評価が可能になり、分析できる印象項目数が16から42に拡大します。
- 複数案比較分析機能 (ネーミング分析・キャッチコピー分析・パッケージ分析)  
複数案について印象分析結果を比較・レポートングできるようになります。
- 多面的で直感的なレポートング機能 (ネーミング分析・キャッチコピー分析・パッケージ分析)  
従来の感性尺度ごとのグラフや連想語マップ出力、ポジショニングマップ(※)作成機能に加え、着目する感性評価項目スコアのレーダーチャート分析や与える印象のランキング表示が出力されるようになります。(※ネーミング分析のみ)
- 分析精度向上 (キャッチコピー分析・パッケージ分析)  
性別・年代ごとの感性を予測するために一般生活者10代~60代の男女の被験者アンケートを追加取得しA Iのデータを拡充しました。パッケージ分析では配色・模様から印象を分析するA Iのアルゴリズムの見直しを行い、分析精度が向上します。

### ②感性A Iプレスト

消費者データを学習したA Iが商品に付与したいイメージからネーミング、キャッチコピー案やパッケージデザインのシミュレーションを行うアイデア創出A Iツールです。新商品開発、既存商品リニューアル時のネーミング、キャッチコピー、パッケージ検討にご活用いただけます。

#### 【バージョンアップ内容】※2022年4月中に反映を予定しています。

- ペルソナ設定 (ネーミング創出・キャッチコピー創出)  
設定されたペルソナ像(年齢、性別、パーソナリティなど)をもとにした連想語のプレストと、それを活用したネーミング・キャッチコピープレストができるようになります。
- 商品登録機能 (ネーミング創出・キャッチコピー創出・パッケージ創出)  
商品ごとに連想語、ネーミング、キャッチコピー、パッケージデザインプレストを行い、レポート出力できるようになります。
- 生成精度向上 (ネーミング創出・キャッチコピー創出)  
年齢、性別、パーソナリティごとの感性を予測するために一般生活者10代~60代の男女の被験者アンケートを追加取得しA Iのデータを拡充しました。キャッチコピー創出では商品カテゴリーを考慮したA Iのアルゴリズムの見直しを行い、生成精度が向上します。

#### 特徴01 訴求ターゲットに最適な案をプレスト

ターゲットの属性情報である性年代・パーソナリティをご入力頂くと、そのターゲットに最適な案をプレスト致します。



#### 特徴02 連想語からコンセプトを設定可能

ターゲットの属性情報である性年代・パーソナリティをご入力頂くと、そのターゲットの連想語を予測してワードマップを表示します。ワードマップの中から商品コンセプトを直感的に設定を行うことが可能となります。



#### 特徴03 商品毎にアイデアをストック

開発を行っている商品毎にネーミング、キャッチコピー、パッケージのプレスト情報をストックしておくことが可能です。



#### 特徴04 オノマトペもプレスト

消費者にダイレクトに商品の価値を伝えることのできるオノマトペも生成可能。元となるオノマトペから、そのオノマトペに類似したオノマトペを生成します。

オノマトペ	オノマトペ	オノマトペ	オノマトペ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ
あざむく	あふ	ほろほろ	あつむ

## (2) 使用方法

下記URLにアクセスし、アカウント登録ページに進んでください。アカウント登録後、マーケティングソリューションのサービスを利用できます。

URL : <https://www.kansei-ai.com/marketingsolution>

## 2. お客様のお問い合わせ先

感性A I 株式会社 中島

TEL. 0 4 2 - 4 4 4 - 6 7 6 1 Mail : [sales@kansei-ai.com](mailto:sales@kansei-ai.com)

以 上

## 【参考】感性A I 株式会社の概要

1. 商 号 感性A I 株式会社

2. 本店所在地 東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1 (電気通信大学内)

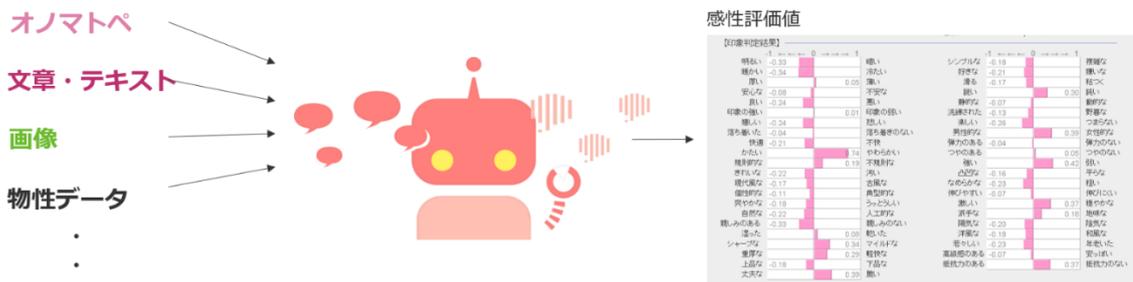
3. 主要業務 ①ソフトウェアおよびシステムの企画・開発・保守・販売・ライセンス販売、  
コンサルティング業務

②商品およびサービスの企画・開発・マーケティング・販売のコンサルティング業務

③ソフトウェアおよびシステム開発の受託

国立大学法人電気通信大学坂本研究室で長年培った、言葉と五感・感性との関係性に着目した応用範囲の広い特許技術・知財、心理・分析データ、ノウハウに、深層学習(ディープラーニング)、機械学習などのA I 関連技術を融合させ、ものづくりやウェルネスの分野におけるさまざまな課題・ニーズに合わせた最適な感性活用のソリューションを提供しています。

人は、感性(=様々なモノ・コトを見る / 触る / 味わうなどして五感で知覚し感じる能力)で感じとったモノ・コトの印象(質感、味わい、など)を、言語の情報(例:「さらさら」「とろり」などの擬音語・擬態語=オノマトペ)で表現します。感性A I 株式会社では、この人の感性に結びつく様々な言語をはじめ、文章や画像などあらゆる情報の感性情報を人工知能(A I)により定量化する「感性評価A I” Hapina”」をコア技術としています。



4. 資本金 4,500万円

5. 代表者 代表取締役社長CEO 虻川勝彦

6. 設立登記 2018年5月25日

7. 事業に関するお問い合わせ先(相談・業務依頼)

感性A I 株式会社 Mail : [sales@kansei-ai.com](mailto:sales@kansei-ai.com)